

令和6年度 檜原村村民対話集会

日 時：令和7年2月5日 19時30分～21時00分

場 所：南郷コミュニティーセンター

村側出席者：村長、副村長、教育長、議会事務局長、ほか職員4名

参 加 者：14名

《意見交換》

■出野沢林道についてなんですけれども、奥の方で倒木などもね、あったりしたときには結構迅速にご対応いただいたみたいで、どうもありがとうございます。

出野沢の地区については、土砂災害の危険区域になっているところもあります。結構危険も多いので、村の方でも気をとめていただけたら、ありがたいと思います。

今、私の方で要望というかさせていただきたいのは、出野沢林道で結構石が10センチとか多い時には20センチぐらいの大きな石が結構、林道に落ちている時がある。私もその都度拾って片付けているんですけれども、5センチぐらいの石だと車が踏んで粉々に砕けてとか、結構やっぱり落石は危険を伴うものでもありますので、あぶないので、具体的にどう防止すればいいかなかなか難しいところではあるかと思うんですけれども。

例えば、林道の上のほうに柵をつけていただくとかですね、そんな感じでご対応いただけたらと思います。

あと、出野沢林道、うちがあるせいもあるんですが、けっこう郵便屋さんとか、宅急便、宅配便屋さん、もちろん住んでいる者とか、あと観光の方とか、あと釣りの方も時々見えたり。色々結構通るんですね意外と。できたら村の方でも気に留めていただきまして、住んでいる人以外でも通る人も多いので、何か対策を考えていただけたら、お願いしたいです。

落石に加えて木が林道を覆うようにして伸びているものもあつたりしますので、そういったものも。枝が落ちている時には私も片付けているんですけれどもね。

そういったこともあるということで、その伸びた木もどうするか、檜原村にはたくさんあるでしょうから、難しいことではあるかと思うんですけど。一応こういうこともあるので、要望というか、村の方に伝えてよろしく願いいたします。

→【村長】

出野沢林道についてはですね、奥がだいぶ、すごく荒れてるということで、ここで整備をさせていただいております。

そして、石が落ちるということですので、担当のほうにですね、1回、見て、どうだつていうのをちょっとさせますので、そして、上のほうから大きな石が崩れるような場合にはですね、止めるような、防止の柵でもつけなきゃいけないと思います。

その辺も見させて、対応させていただきます。

そして木が伸びるのはですね、ちょっと、本来は、切ればいいでしょうけど、なかなか、所有者もいますので、それについては、倒れた木は切らせていただくことで、積極的に切らせていただければ村の方で対応させていただきますので、その辺でご理解いただきたいと思います。

【司会者】

はい、ありがとうございます。ほかにございますでしょうか。

■下元郷から五日市に向かっていくとこの沿道の整備ですけど、木を切っていただいてすごくきれいになって、今度また笹平から笹野の間、いせみのとこなんですけど、あそこも切っていただいて、すごく明るくなって、見晴らしも良くなって。そして今、本宿から碎石まで、あそこも切ってもらってきれいになって、とりあえず今シーズンですね凍結なんかもするので、そこに渡って、そういう凍結防止にもなると思うので、交通の安全にもすごくいいんじゃないかと思っています。

そこですね、そこで終わりじゃなくて、まだ、これからも計画があると思うんですが、また、前回のときかな、そんな話をした時に、都道なんで東京都と話し合いをしなくてはいけないとか、お話があったと思うんですが、今回このような形でやっていただいてすごくよくなっているので、引き続き碎石のあたりも杉の木があったりして、やっぱりあの辺も雪が降ったりすると凍ってくるんで、引き続いてお願いしたいと思います。

それとあとですね、まだ下の川と道路の間はいいんですけど、上の方、道路の上側。あの辺も電線に木が生い茂ったりしてて、色々危ないところあるんで、その辺のところも今後ぜひ検討していただいて進めていただきたい。よろしく願いいたします。

→【村長】

ありがとうございます。私になってからですね、観光客だとか、住んでる人、含め、整備すれば気持ちもいいし、川が見えてということで、あきる野の境から上流のところも整備したり、今言ったように碎石のところも整備させていただきます。

そしてあとは下元郷のところ、あの辺も今やっています。

そして実はですね、碎石の上流側のところなんかも、担当に切ってほしいと調べておいてくれと。前に、確かね、外国に行ってしまった方が、所有しているということで連絡がつかないと聞いたことがあるんですけど、その辺も含めて、外国に行ってるのならどこに行っているのかわかれば、連絡を取って、通称山の神のちょっと危ないところがあるので、そこも近いうちに切る話はしてあります。

そして、道路の山側ですね、これについて、話があって、山側も川と同じような形でね、切った方がいいんじゃないかという助言をいただいて、これについては予算は計上しました。

できたら、交渉して応じていただければ、山側も 10 メーターぐらいの幅、上流側、伸びても 10 メーターだとかかるかもしれないけど、その辺も整備をしていくということで。まだ、公表はしてませんけども、どこでというのはちょっと分からないけど。2 月号の今日発行の、それに載ってますけども、金額は載ってませんけども、予算的なものはですね、沿道修景含め、4700 万、予算計上をしてありますので、できましたら、協力していただければ伐採はいたします。

そして、私言われてるのが、南ばかりやっていて北はぜんぜん進まないじゃないかと言われてますので、苦しいところなんですけども、用地交渉をして、早急にできれば、北も南もなくやりますよということで、言ってますので、そんな形でやらせていただきますので、ご協力よろしくお願いします。

■ありがとうございます。ぜひですね、観光客もいっぱい来ると思うのですね、川とか見えているとよくなりますので、是非お願いいたします。

【司会者】

よろしいですか。はい、ありがとうございます。ほかにございますでしょうか。

■一点目、要望なんですけど、住民のがん検診を無料で行っていただいているが、その中の胃がん検診、バリウムを飲む検診なんですけれど、結構私、私以外もいるんじゃないかと思うんですけど、身体の体調がちょっとね不調になる人もいるんじゃないかと思うので。

私はがん検診の時、バリウムはやめて、個人で内視鏡で検査をやっているが、その村で全額とは言わないが補助していただければ、診療所でその検診ができれば、非常にありがたいなと思っているところです。

それからですね、もう一点、要望提案なんですけども、今 2027 年ですかね、蛍光灯、管球が生産中止になるということで、かなり問題になってるかなあと、ニュースなんかでも取上げられたりしてるんですけども。自治会館ですね、蛍光管なんかを村主導で LED 化、できればね、非常に助かるなっていう取組やら補助金とか、使えるんじゃないかなと思っているんですけども、それが自治会館に当てはまるかわからないけれども、それをちょっとね、考えていただければと。先々、遠い将来ではなく近い将来の問題になるんだと、思ってますので、検討していただければと思います。

あと最後、柏木野のバス停のところです、あそこに登山口が、連行峰に行く登山口、生藤山、三国山に登る、登山口ですね。割と今、登山ブームで下山してきて、その待ち所に待っている人が結構見受けられるんですよ。バスの待ち時間もね、タイミングによっては 1 時間も待つような時もあったりするんだらうなと思うので。私も登山するんで降りてきたらね、なんか飲みたいとか、食べたいなっていうところですが、柏木野は自動販売機も

そばにないようなところなので。ただ、ちょっと考えると、一つ先の宮の沢という停留所のところに、やまぶき屋ですか、おみやげもあるので、そこを使えますよと、近くにありますよという案内看板、柏木野のバス停の待合所の中に案内看板を出してあげれば、下山してきた人、それから、やまぶきや、観光協会になると思いますが、両方ともウイン、ウインでね、食べたいもの、飲みたいものが手に入る。かたや売り上げが伸びて相乗効果が出るんじゃないかなと思って、その辺の看板に掲示をしていただいたらどうかなと思っているところです。以上です。

■バリウムがダメな方は、内視鏡の検査を受けるときは、村の検査ではないので、全額自己負担となってしまいます。それを含めて補助を出せないかということなので。

→【副村長】

診療所では検査はできるけど、補助の構築を考えればということ。内部で検討させていただいて、飲めないというところを前提に、一応バリウムをやってもらふこと、体質的に合わないとか、そういう人を救うための制度として考えられないか、検討して。

→【村長】

そういう人もいるから。バリウムが苦しくて、次の日3日くらい調子が悪い、それは、伺って検討してみます。

それで、LED化につきましては、自治会館、製造中止、製造はもうしないということだと思うので、それが欲しい時に買えなくなる。機具自体も取り替えないと使えないと思うので。その辺まだ3年くらいあるので、その辺も含めて自治会館の補修だとかそういう制度もありますから、そんなので会館自体で対応していただけたらどうかなと思っているので、またその辺の今即答できないので、補助金ですぐやりますということと言えないんですけども、自治会館ですから村が補修に関しては面倒見たいと思っています。

そして後は、柏木野のバス停の関係。これについて、一昨日、これについては、同じことをお話ししたので、担当の方にもすぐ指示をして、案内板をつけて、宮の沢に直売所があるから、休むところもあるし、トイレもありますからということで、案内板をつけるように指示をさせていただきました。

【司会】

よろしいですかね。ほかの方。

■先程、私も碎石のどこを切ってとても明るくなってありがたいと思っています。ありがとうございます。これからもどんどん切っていただければと思います。

それと、私考えているんですけど、能登半島の地震でインフラの復旧が一番遅かったのが

水道だと思うんですね。ここら辺でも同じようなことがおこるのではないかというふうに考えています。その時に水道じゃなくて、うちの周りには井戸がいくつもあるんですよ。昔使っていた井戸なんですけど、そのままの状態になってます。それをうまく利用、災害の時とか利用できればなということで。ただ、穴が開いているだけなので、電気でなく動く手動ポンプでもいいんで、そういうのをつけてもらうとか、いうことはできて、使うのは地元の人だけだと思うので、案内板もいらないと思うんですけど、そういうのもあればいいかなと思います。整備してもらいたい理由がもう一つあって、今ただ穴が開いているだけなので、ちっちゃい子供とかそばに来ておっこっちゃって、わからないで中にいるということも絶対ないとは言えないので、上をコンクリートでふさいで、そこにポンプをつけるみたいな整備をしてもらって、対応していただければ、安全面と災害の時と両面でいいかなと思います。話をしました。

うちのすぐそばに一個あって、うちの隣の空き地、小泉製材が使っているところにも一個ある。同じような状態であるので、あちこちにあると思うので、整備していただければなと。

→【村長】

提案ありがとうございます。水道に関しては、檜原村でも耐震に備えて、布設を数馬から南のほうやっているんですけど、そのスピードを倍にするということで、早く耐震化をやるということで、今進めています。

そして、それとはまた別の井戸の関係だと思うんですけど、確かにそういうような形で、災害に対応できれば、本当にいいことで、これについては、今提案をいただきましたので、行政でやらなければいけないと思うので、どのくらい費用がかかるのかを含めて、担当が、水道の担当がいるんで、その辺もちょっと今後の防災の担当も兼ねていると思うので、水道だけでなく、その辺も含めて、そしていざ災害が起きてそれで汲んだ時に本当に飲めるのかという形のものもひょっとしたら出てくるかもしれないので、沸かして飲めば全然問題ないでしょうけど。その辺も含めて、検討させていただきたいと思います。

【司会者】

よろしいですか。はいでは。

■私はですね、提案がございまして、防犯カメラ、実は10年くらい前に取り付けたんですが、その防犯カメラが大変老朽化しまして、今のところちょっと落ち着いてますけど、闇バイトだとか、檜原はけっこう高齢者が多いじゃないですか、非常に狙われやすいんですけど、うちが戸戸近いのと、あまりお金がないからなのか、そのことで防犯カメラとか砂利ですかね、砂利をまいとくと音がするような、そういうものをね、ぜひ、防犯カメラの補助をですね、音が出る砂利のそういったものを検討していただければ非常にありがたい。以上です。

→【村長】

実はですね、五日市の防犯協会からも、そういうような要望もあります。補助金を出せば、普及するし、いいねということで。八王子市は既にそういうような補助金が出てます。村でもその辺については、検討して来年の予算の中には組み込みました。ですから、補助が4月以降。金額は防犯カメラまでは、全ては補助できないけど、インターホンとかだったら、そのくらいの金額、今2万円を考えてます。2万円で、50基ほど付けられるような形で、反響が良ければ補正で増やしていきますけれども、本格的な録画ができるちゃんとしたカメラではないんですけど、そんなことを考えていますので、是非それを使っていただきたいと思います。

→【村長】

砂利については、ちょっと。音がして、誰か来たなとわかるような形なので、それについてはちょっと検討させていただいて。

■自治会のことについて、聞きたいのですけれども。

今、我々がだいぶ高齢者になってきて、今まで自治会長は60歳から70歳前で、皆さんできてたのですけれど、今若者がいないのでそのまま高齢者になった自治体が多くなっちゃって、自治会長やる人が70歳になっちゃって、今後いろんな面で自治会運営が大変、各自治会とも自治会運営が厳しい、役員の選考が難しくなっちゃうじゃないかと思うので、これから先役場の方は、このままいくと80過ぎの人が自治会長をやるようになっちゃうんじゃないかと心配する。役場の方はこの問題をどう考えているのか、意見があったらちょっとお聞きしたい。今後の課題とどんなふうに考えているのか、わかっていることがあればお聞きしたい。

→【村長】

実は、自治会の中で年齢だとか制限だとか、一切してないです。そして、自治会に入っていない人も結構増えている。そして、世帯が少なくなったということで、人里の事を言わせてもらおうと、2つの自治会が1つになったらどうかとか、そんな意見も出てます。やる人がなくて。藤倉の方では、3つの自治会が1つになって、そしてその中でも配布するときには代表者を決めておいてもらって、そこにやるような形で、その代わりに自治会長は藤倉に1つ、そんな形のやり方をしてもらっているところもあります。その現状に合わせて役員の選考が非常に大変だということが出てきておりますので、その実情に合わせてやっていただけたらなと思います。上川乗なんかでは一人の人が3回やらないとまわっていかないと、そんなところもあります。自治会によって大変なところが発生しているというのは承知していますので、自治会の中でやっていただけたらなと思っています。

■いや、そういう課題として、割り振りとか、3自治会が1つになるとか、あるんだろうと思うけど、その割り振りとかいうのを役場の方で検討してそういうの、自治会で総会して決めるの？

→【村長】

それを役場の方で、こことここを合併してやってくれと、それは言えないので、自治会同士で話し合っていて、そろそろ合併どうですかということで話し合っていた方がいいと思います。強制的に行政が合併しろということは言えないと思うので、ぜひそんな形で進めていただけたらと思います。

■結局人がいない場所は85歳になって自治会長をやるような形になっちゃうんでしょうかね。自分が歩くのもやっとこで、自治会長ときても。

■今回の自治会長さんの仕事の簡素化というか、ちょこっと共済なんかね、今回、今まで自治会長が集めて、自治会で役場の方に持って行ったんですけど、今回、個人で入りたい人は個人で役場の方へ行ってくれということで、かなりそういう簡素化も考えてもらって、やってもらいたいですけどね。

これから高齢になって、人は少なくなるし、そういう中でも自治会長というのは、かなり負担になると思いますので、よろしくお願いします。

→【村長】

ありがとうございました。本当にですね、自治会長をやる人が少なくなってしまったんですね。うちの方を言わせてもらおうと、次に誰がやるか順番を決めてしまって、そのとおりにやってもらうということで、仕事が忙しいとかそういうのもあるんですけど実情はね。それはみんなが認められる中ではいいと思うんですけど。本当に困っている状況が来ておりますので、よく話し合っていて。そして今、自治会の仕事も簡素化して、いろんな形で、手がかからないように村でも考えておりますので、昔やってたからということでずっとやるというのでなくて、ちょこっと共済なんかも今年からは、広報の中に入れさせてもらってますので、はさんで、その中でまとめないで役場の方に、入りたい人は来て申請をしてもらおう。そんな形に変えましたので、よろしくお願いします。

【司会者】

はい、ありがとうございます。他にございますでしょうか。

■ さっきの防犯カメラの事なんですけど、各家庭では皆さんつけてらっしゃる方もいらっしゃると思うんですが、村道の、民家の入口あたりに村として防犯カメラを設置するような形みたいにはできないんでしょうか。この頃、色々な人が出入りしてて、どこの人かわからないような人が行き来しているので、ちょっとそんなところもしていただけたらいいかなと思ったんですけども。

→ 【村長】

今のような要望がですね、防犯協会とか警察からの依頼で都道のどういうところにつけてくれとか、つけてほしいという依頼があるんです。それを今度管理したりしなければならぬということで、今のところは村ではお断りしているような形です。公共施設については全て村の中でつけておりますので、ただ、コミセンとかそういうところもつけばいいんですけど、今のところはつけてない状況です。皆さんからつけてほしいという依頼があればつけるような形に方向には行くと思うんですけど。今のところ、やはり誰かが管理しなくてはいけませんし、警察から来たらそのデータを出さなきゃいけないし、いろんなことが発生しますので、今のところはつける考えはございませんのでよろしくお願いします。

■ 今の関連で、今その品物を電気で何10日間というのが、1万円以下で売っている。だから、役所で1件ずつ買っても1万円以下だから、たぶん付けられると思う。調べてもらえばわかる。データも全部残っていて、通るだけで、通った時だけ作動して切れるというのが売っていると思うので、テレビでだいぶ宣伝してるんで。

→ 【副村長】

さっき防犯カメラの補助というところがあつたんですけども、その部分で家庭に付けていただく人は付けていただくと、いうところで考えています。それは、限度額があるんで、例えば1万円くらいのもを付ければそれで収まりますし、ちょっと超えちゃう、パソコンで見えるようにするとかになるときっと高くなっちゃうんですけども、限度額を決めてつけられる家庭は付けていただきたいということで、まずやっていきたいなと思ってます。あと、公共施設につけてもいます。そういうのを使いながら、あと、都道にも何カ所かつけてます。そういうのを見ながら、先程村長が言いましたとおり、管理に結構かかるので、本当に必要なところを。例えばごみを捨てられると困るような林道の入口とか、そういうところの声が大きくなってくれば、そういうところにつけていくような形で、様子を見ながら、考えていきたいというのが実情です。言葉がうまく無くて申し訳ないですが、そういう形で考えてはいるのですが、中々かかるので、進めにくいというところは理解いただければと。家庭の方から。

■ちょっと関連で、防犯カメラではないんですが、都道なんかについてるライブカメラなんですかね。そういったものって檜原の街道には設置されているものなんですかね。

→【副村長】

都道のライブカメラとして見えるのは、東京都の建設局のほうで運用していたんで、十里木あと上川乗の甲武トンネルの下あたりにあったんですけど、今改修してて多分見れなくなっていると思うんです。また、それが開放して見せていただけるようになれば、そこで静止画、15分に1回くらいだと思ってたんですけど、そういう形では、積雪の状況だとか、込み具合とか、そういうのはわかるようには今までなってたんです。ここ1年くらい止まっています。また、見れるようになれば、ホームページで見えていただけるのかなと。あと、今こちらからお願いしているのは、北の方にはないので、北部の方とかにもつけてくださいよとお願いはしています。そんな形です。よろしいですか。

【司会者】

はい、ありがとうございます。他にございますでしょうか。

■こういう対話集会が行われるというのが、とてもいいことだなと思っています。

それで、それがどう活かされているのかっていうことはホームページで拝見できるということなので、私達もホームページをまだよく見てないので、これから拝見しようと思っています。

先日ある議員さんが、自治基本条例というのを提案して、それは住民と議会と行政が独自に作るための条例ということで、それを提案したんですが村の方で住民の負担の増加が見込まれるので、今はちょっとできないという回答だったと思います。

メリットがどんなもので、リスクが何かということをちょっと教えていただけないでしょうか。

→【副村長】

自治基本条例につきましては、それを設定することによって、村の事務の関係だとか、透明性とかが図れるという形があると思うんですけど。そういう中では、他のところを色々見ていきますと、村民の方にどういう役割を持ってもらおうとか、議会がどういう役割を持っとか、それと村がどういう役割を持つか、役割分担を持ちながら、そういうことを進めていかなければいけないよということで、形としてはいい形なんですけど、そこに持っていくまでにそれぞれの役割分担と持っていく方向をそこをうなづいていかないとできないし、作ればそれで終わりというものではないので、そういうところで時間もかかるし、もっと熟成した形になってからなのかな。あと、他のところをもっと見ながらということで、積極的ではな

いという答弁になっているかなと思います。よろしいですか。

■それで、対話集会で出た意見というのが、採用されているのだから、それでもいいんじゃないかという理解でもいいですか。

→【副村長】

そこまでは言い切れないですけども、自治基本条例が無くても、ある程度、こういう、あと村民の全体会議、そして団体の意見を聴く場とか、あと、今年あたりから村長と個人に会える場とかも作ってますので、そういう部分で、それが自治基本条例に変わるものかという、そうでもないと思うんですが、村政の方へのご意見要望とかを聞きながら良くしていく。とりあえずはできるのかなという形の考え方の答弁をしていると思います。研究をしながらというところで、お時間をいただいてという形かなと思っています。

■この場で意見として出したかったのは、先程の話とも関わるのですが、人口が減っているのに役職が変わらない。もう何といてもいろんな役がある。先程話をしましたけど。

こういう言い方していいかどうか、同じような方が役を持っていてそこからも抜けられないというので、役職は減らして整理していつていただきたいと思った。ですから、条例ができたために役が増えるようであればそれは私も。宜しくお願い致します。

→【村長】

自治基本条例は議員の方から一般質問で出たんですね。それで、いろんなことを検討して、近隣の町村では作っているところが少ない。そんなことで、ちょっと様子を見させていただきますということでやらしていただいております。

役職が増えるかという形ですけども、色んな形で一つにまとめて、1人の人がやってくればいいんですけど、そういうわけにもいかないの、ある程度やっていただけたらなと思っています。

いただいた意見については、今日も録音をさせていただいて、きちっと記録をとって、どういう形の対応をしたかというのをきちっとしますので、その辺も承知しておいていただきたい。

■もう一つ、私達ここで健康体操というのをやっています。それで、おばさんたちが集まって、井戸端会議的にいろんなことが出るんですけど。そのひとつなんですが、コミュニティーセンターができて30年以上が経っていると思いますが。今この椅子が片付けてあった物置ですね、その備品、段ボールに入ったまま30年間そのまんまである。そういう物の管理というかは、コミュニティーセンターにある備品の管理というのはどこがやるべきなんだろうかね、自治会でやるべきなのか、村でやるのか聞きたい。

→【村長】

基本的には自治会でお願いしたい。というのは、管理委員会とかいうのを作っているところがある。そこが管理をしていただいて、備品が欲しいとか、ここが壊れているから直してほしいとか、そういうところから村の方に来て、誰か管理する人がいるんじゃないですか。

→【副村長】

その備品とは、いらない様な備品になってるということ。

■段ボールに入ってる。今、テーブルとか一回も開けてない。段ボールのまま、30 年間ある。

→【副村長】

置いておいて、邪魔であれば引き上げちゃうんですけれども。もし、新品で

■使わないのならもったいないと思って。考えていただいて、使っていただけたらここに持って行って活用してもらった方が。

→【副村長】

ここで使っているのと入れ替えて、これを引き上げるということもあるのかもしれないですし、この中のコミセンを使っている方たちの方で相談していただいて、邪魔というかもったいなくて、他に持って行っていいですということであれば、連絡いただいて引き上げるし。

■活用したほうがいいんじゃないですか。

→【副村長】

なので、こちらの方で決めていただければ。うちの方からは、一応必要だということで置いてもらってるんで、たまたま足りてるけど、なんかの時には必要で置いているのかもしれないし。当初の時には必要ですと言われたのかもしれないし。今の利用方法に合わない数になっていけば、引き上げるのも全然、その辺委員長さんから。中にはね、古くなったから買い替えてくれはよく聞くけど、こういう話は初めてなので、ちょっと参考にさせていただきながら。何なりと相談いただければ引き上げるのもできますし、気軽にお話を企画財政課の方になりますので、よろしくお願いいたします。

→【村長】

そういうのを管理する人というのは、決めてないんですか。

■開発委員会で管理している。

→【副村長】

他だと椅子が古くなったとか、テーブルが使いにくいから、畳の部屋なんかでは、高いテーブルにして椅子で座われるように、テーブルを取替えてくれとかはあったんで、そういう話が多かったです。

→【村長】

コミセンの整備は、南郷が一番最後だったから、そういう点では備品とかそういうのは一番状況がいいんじゃないかな。

→【副村長】

いらないければ他で有効に使わせていただいて。

■それと、関連してなんですけど、この机がとても重いんですよね。私達すごい年を取っているんで、大変なので軽いのに替えていただくというのは。

→【村長】

できましたら、代表者の人が企画財政課の方に相談してもらえれば。こういうのはいらないとか、軽いのが欲しいとか。

■そういう手順がわかるんだったら私たちが要望して持っていくようにします。それをどこに持っていいかもわかんなかったんで。

→【副村長】

形としては、全体の中でオーケーが出て、それでということにしていきたいと思います。個人的というか、一部のところでなっちゃうと後々あるので。コミセン使っている全体、例えば開発委員会なのかコミセンの管理委員会なのか、あると思うので、そこでまとまった話として持ってきていただければ可能かなと。

■前々から話が出てたんですけど、駐車場のギター工場。あそこをですね、住民説明会だとか、何年もかけてやってるんですけど、いまだに手がついてない様な気がするんですけど。進捗状況、どうなっているか教えていただきたいと思います。

→【村長】

多分その問題が出るかなと思って。南郷の跡地を企業誘致で進めていまして、地元の説明

会を開催して了解をいただいたということで、企業誘致の委員会でも優良企業ということで認定をして、今会社では建物の設計をしているということで、その設計が今年の秋ごろに終わるということで、順次建設にかかっていく、そんな感じでやっているということで、今日確認してきました。よろしくお願いいたします。

■ちょっといいですか。

ここのグラウンドは、役場で管理してるんですか。グラウンドの広場で、伐採して材木をやってここ10年くらいずっと使えない状態なんだけど。

■管理は共益会なんだけど。

■共益会でやってんの。あんまり、この前も半分くらいところへ重機を置いといたから、おどかしたから、こんなあれじゃだめだよと言ったら、スポーツで地域の人が使うんだよと言ったら引っ込めたけど。

→【村長】

基本的には、財産は村のものなんです。だけど、管理は地元で管理をして下さいということで話をしてるんです。いろんな形でみんなに寄付をしていただいて、グラウンドだとかそういうのを作っているの、村の勝手に使うということは良くないなということで、地元のきちとした形で貸したり、色んなものを作ったりとか、それが基本ですので、そんな形でお願いしたい。

■管理は地元でということでしたけども、いつだったか下にね、災害時とかの非常食がここのコミセンにあったんですけど、見たら賞味期限がもう古いんじゃないの、食べられないわというようなものがあったんですけど、村の方はそういう管理も、そういう非常食の管理も地元でするんですか。もうちょっと早めにわかってたらみんなに配っちゃうとかできたのに、これじゃ、くれても、もらってもと思ったんですけど。そういうのも下に色々置いてあるんですけど。

■役場で承知しているよな。私も自治会長になって最初開けて調べたんですよ。切れているやつがあつて。そうしたら、

→【村長】

基本的には、自治会ごとに備蓄庫を整備してありますから、そこの中に入れる分は人口に合わせて、3日分ということで、賞味期限もいつかというのも、全部把握して配布してます。ここにあったものが、賞味期限が切れているというのは、おそらく、避難所として持ってきて

て、それがそのままになっているのでは。基本的にはここには備蓄はしてないと。そういうのがあったら片付けなくちゃ。

→【副村長】

今村長が言われたように、備蓄庫に入っているものは管理できている。ここって、避難してもらおうようなときに、持ってきてそのまま置いてきちゃったのが残っていて、気がつかないでいて申し訳なかったです。なので、係のほうに話をして、全体を回らして、ダメなものは引き上げるような格好で考えます。もし、気がついたらご連絡いただければ、対応させていただきます。ちょっと本当に申し訳ないです、気がつかないで。すいません。

【村長】

それではですね、最初ちょっとお話すればよかったのですが、どなたか質問すると思って、言わなかったですけど、実は、トイレの関係で村内のトイレを調査、全部しました。そして、トイレを建設する場所だとか、そういうふうなものもやらさせていただいて、この辺だと柏木野から、自治会から柏木野地区にトイレを作ってほしい、そういう要望もいただきました。そんなことも踏まえて、できましたら柏木野地区にトイレを建設する予定です。そして、南郷地区にはらの店というのがあるんですけど、そこの横の土地があるんですけど、そこを村の方で購入することができましたので、これからですね、まだ設計をしたり整地をしたりして、やらなければいけないんですけど、そこに住宅、村営住宅を作る計画させていただきしますので、地元でもぜひご協力をお願いしたいと思います。

【司会者】

今、村長から説明がありましたけど、そのことに対して何かご質問があれば。
よろしいですかね。

【村長】

できましたらね、土地についても村の方で積極的に購入させていただいて、ぜひ、住宅を作って、人口が本当にもう 1,922 人になってしまったということで。1 年間の人口減少が最近本当に減少が早まっているので、その辺を危惧しています。高齢者比率が 53%、二人に一人がもう 65 歳以上の方です。できましたらね、皆さんの息子さんたちを呼んでいただきたい。子供も孫も含めて。そうすればいいんですけど。とにかく 65 歳から下の人達、本当に少なくてですね。今年は、今年の 4 月から子供は何人くらい生まれたと思います。もうすぐ 1 年になるんですけど、1 年間に何人、実は 4 人です。本当にですね、4 人とか 5 人とか。

■噂なんですけど、出畑の漬物工場の横の土地かな、あそこ、噂なんですけど、なんか住宅が建つんじゃないかと。

→【村長】

今ちょっと言ったのが、そのことなんです。780 m²あるんで2反部くらい土地がありますので、そこに住宅がどのくらい建つかどうかというのを、これから設計しなければいけないのですが、ちょっと傾斜地なんで、どのくらい建つかというのをやっていかなければいけない。これから、2、3年はかかると思いますけど。

■高齢化がだいぶ進んでいますので、是非、あそこに若い人がね来ていただければありがたいなと思っているんですけど。

■いいですかね。

こうやって見て、役場も一般企業ではないんですけど、一つの組織ですよ。去年からとってはおかしいけれど、フジテレビの件と、ガバナンスとコンプライアンスですか、それを一歩間違えるとあれだけに非難されるということで、役場としても、例えば若い人の教育、どのような感じでやっているのか。コンプライアンスなんか、どう指導、教育しているのか、ちょっとその辺聞かせていただきたいんですが。

→【村長】

実はですね、役場の職員の実情をお話しさせていただくと、職員が62名ほどいるんですけど、その中でも退職者がすごく増えてきたということで。そして、何が不満で辞めるかというのは、その辺がね、それぞれの思いで辞めて、他のところに行きたいとか、今勤務をしたりとか、そんな形で辞める人がいて、それに伴って職員も採用したりさせていただいてるんですけど。その中でも、個人のですね色んな思いを村でも受け止めなければいけないということで、色んな調査をしたりして皆さん、三役がこの人どういう考えがあるかとか、色んなことをきちっと調べなければいけないということやらせていただいて。そして、公務員ですからコンプライアンスについては、非常に気を使わなければいけないし、その辺については、研修ですとかですね、そういうふうなところでは、きちっとした形で研修に行ってもらったり、それから、係でもですね、上司が中心になって、職員の育成ということで、それについては口を酸っぱくして指導はしておりますので、それでも中々いろんな形で問題が発生するかもしれないけれども、気をつけてやっておりますので、何かありましたらご指導をお願いしたいと思います。